

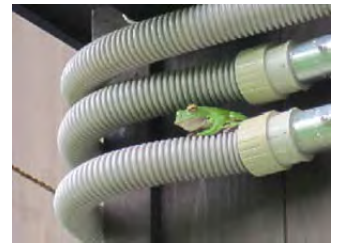
## 美山だより 2012・なつ

初夏になると、特別な生き物がアースガーデンにやってきます。モリオアガエルです。このカエルは非繁殖期は森に生息し樹上にいるので、なかなか姿を見ることができません。ウィキペディアによれば、環境省のレッドデータリストには入っていないものの、3県で絶滅危惧種Ⅰ類か、Ⅱ類に指定され、12府県では準絶滅危惧種とされています。10~15cmの白い泡のような卵塊（泡巣）



写真①…卵塊が2つ

を、水辺に突き出た木の枝に産卵しますが、近年の開発でそのような環境が減少していることが懸念されます。そんなモリオアガエルが初夏に我が家に来てくれるのを、私は毎年楽しみにしています。小さな手作りの池（＝ビオトープ）のそばのヤマボウシに白い花が咲く頃、水面上に伸びた枝に産卵します。産卵数はどういふわけか毎年5つです。今年は5月27日にひとつ目の産卵があり、6月半ばに2つ目、6月19日には合計5個の卵塊がヤマボウシの枝の葉っぱにくっつくようがありました。（写真①）



写真②

この時期、庭でモリオアガエルの姿を見ることがもできます。6月9日に西宮市の知人が、家族と共に美山に来たついでに、アースガーデンにモリオアガエルを見に立ち寄ってくれました。私も庭に出て一緒に探したところ、5匹いました。（知人の家族によれば7~8匹いたとのこと。）干してある作業用手袋にくっついていたり、太陽光パネルにつながっている軒下のジャバラのホース上にいたり（写真②）、森に生息するカエルなので、やっぱり高いところが好きみたい。

数年前にモリオアガエルが1匹いつの間に入り込んだのか、私の部屋にいました。「ここは森じゃないのよ。」と話しかけてお庭に戻してやりました。モリオアガエルは手の上ののせても、じっとして人を恐れる様子がなく、目のふちが金色で眠っているのか起きているのかわからない表情が可愛いです。梅雨が明け、今年も真夏の太陽がじりじりと照りつける季節になりました。もう庭にモリオアガエルの姿はありません。卵塊からオタマジャクシがふ化して池に落ち、池にはオタマジャクシが今いっぱいです。今の時期、雨が降らず池の水位が低くなるので、水を時々池に補充してやります。

日照り続きなのに雑草だけはとても元気。刈っても刈ってもすぐ伸びてきます。ご近所のT氏が言われました。「京都市内の兄貴が来て言うんです。やっぱり田舎は緑がいっぱいでええな、って。それで私言うたんです。何言うてんねん。連日こっちは草との戦いやねんで、って。」もと都会人で今は田舎人の私はどちらの気持ちも良くわかる…この季節、草を放っておくとあつという間に菜園や畑は大型雑草に飲み込まれてしまいます。でも私は草を大切な土壌を保護するグリーンカーペットだとも思っていて、むき出しの地面に不安感も感じるのです。

さて話は変わりますが、前回の美山だよりでお知らせしたアースガーデン東の酒造工場建設とアクセス道路建設計画についてのお知らせです。まもなく開発許可申請手続き行われ、10月~11月に着工予定です。近隣の美しい田園風景は大きく変わってしまうでしょう。またアースガーデンの隣接地に大型観光バスの通るアクセス道路ができ、ここの敷地内環境はどうなるのか、確実なことがまだ何もわからず不安にかられています。これまでの話し合いでは、こちらの道路幅員についての要望が聞き入れられず、酒造会社は思い通りのものを作りたいようです。私たちは近々環境保全要望書を酒造会社に提出しますが、環境保全は、現実的な先方の事情で次第に先細りになる可能性があります。皆様には着工前に一度アースガーデンに来ていただき、今の環境のすばらしさを心に留めてもらえることを願っています。（写真③）。



写真③…デッキから向こうに見えるのが道路と工場建設予定地

酷暑の中、くれぐれもご自愛ください。

2012年8月7日

植月千砂